



**MIKAMIの
車両用連結幌**



三上化工材株式会社

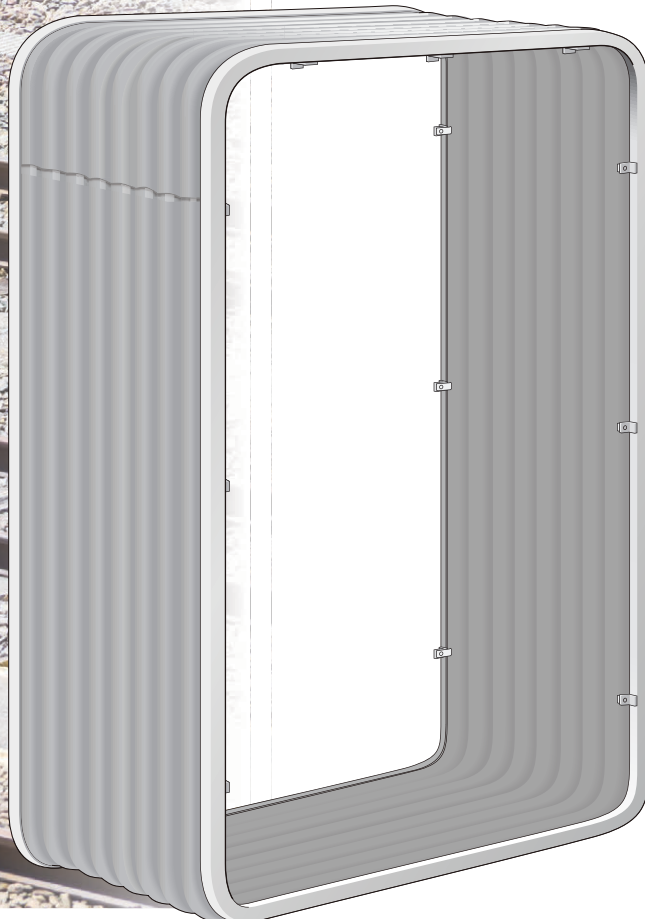


独自のノウハウから生まれた



メンテナンスの低減、耐久性および遮音性を向上させた独自の技術を開発し、安全性、快適性を増した車両用連結幌です。

当社が1975(昭和50)年より研究開発をスタートした縫製糸を使用しない二重構造のMK式Wタイプ幌は、その後の実車実験を経て、30年以上の現車実績があります。

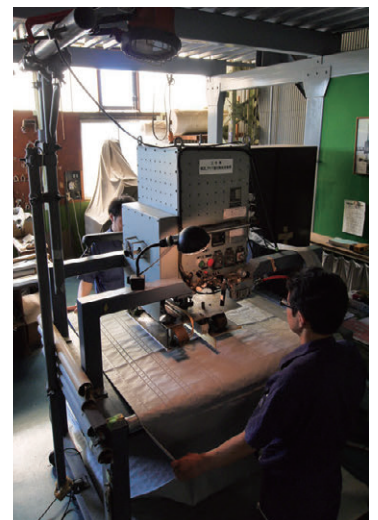


幌地の溶着

幌地同士を高周波ウェルダによって溶着します。

熱溶着と違い、熱源のない高周波ウェルダは、生地内部から溶融し接着しているため、溶着跡が非常に綺麗です。

針と糸を使わないため、針穴からの水漏れがありません。



幌地の溶着

車両用連結幌

幌地の仕上げ

雨漏り防止のため、幌天井部にホ口生地(上覆い)をファスナーで取付け、さらにホックで固定します。



自動制御曲げ加工

自動幌曲げ成形機で幌骨を曲げ加工します。成形機に幌寸法を予め入力しておくことにより、コンピュータ制御で正確にかつ連続した曲げ加工を行うことができます。



幌仕上げ

カシメ機で幌骨を繋ぎ、幌布端部を高周波ウェルダで溶着します。



幌地の仕上げ

自動制御曲げ加工

幌仕上げ

ご挨拶

私たちは昭和30年の創業以来、お客様に喜んでいただける製品やサービスを提供することを最も大切なことと考え、その実現に向けて日々精進して参りました。

鉄道業界は社会のレベルと連動して、単なる輸送機関の役割から、「快適性」や「独自性」をも含めたサービスを求められるようになりました。

さらに近年では鉄道産業のグローバル化に伴い、世界各国の規制や地域に合わせた製品・サービスなども必要になってきています。

このようにお客様から求められるニーズが多様化し、社会環境も大きく変わる中、三上化工材は、お客様に満足していただくため、全社一丸となり全社員の英知を結集してお客様の困りごとを解決し、新たな価値を創造し発展し続ける企業を目指しております。

代表取締役 三上 省吾

会社概要

会社名	三上化工材株式会社 (Mikamikakouzai Inc.)
代表者	三上 省吾
設立年月日	昭和30年9月1日
資本金	7,000万円
本店住所	〒578-0943 東大阪市若江南町1丁目1-28
電話番号	06-4307-6671 (代)
FAX	06-4307-6865
URL	http://mikami-kakouzai.co.jp
メールアドレス	support_mikami@mikami-kakouzai.co.jp
取引銀行	みずほ銀行 西野田支店 尼崎信用金庫 西淀支店

弊社製品の主な納入先

(順不同)

東日本旅客鉄道株式会社殿
西日本旅客鉄道株式会社殿
東海旅客鉄道株式会社殿
四国旅客鉄道株式会社殿
九州旅客鉄道株式会社殿
北海道旅客鉄道株式会社殿
阪神電気鉄道株式会社殿
近畿日本鉄道株式会社殿
阪急電鉄株式会社殿
京阪電気鉄道株式会社殿
南海電気鉄道株式会社殿
大阪市交通局殿
京都市交通局殿
神戸市交通局殿
名古屋市交通局殿
福岡市交通局殿
東京都交通局殿
鹿児島市交通局殿
東京地下鉄株式会社殿
西武鉄道株式会社殿
京浜急行電鉄株式会社殿
小田急電鉄株式会社殿
京王電鉄株式会社殿
東京急行電鉄株式会社殿
京成電鉄株式会社殿
相模鉄道株式会社殿
西日本鉄道株式会社殿
広島電鉄株式会社殿
山陽電気鉄道株式会社殿
叡山電鉄株式会社殿
近畿車輛株式会社殿
株式会社日立製作所交通システム社殿
川崎重工業株式会社殿
日本車輛製造株式会社殿
株式会社総合車両製作所殿
アルナ車両株式会社殿
新潟トランスシス株式会社殿
ジェイ・バス株式会社宇都宮工場殿
ジェイ・バス株式会社小松工場殿
三菱ふそうバス製造株式会社殿
アルナ輸送機用品株式会社殿

MIKAMIの連結幌●特徴

二重構造のWタイプ

幌外側の生地は厚手、内側は薄手の生地を用いることで、遮音効果を高めて列車騒音を軽減し、同時に幌地の痛みも軽減しています。

ミシン目のない軽量タイプ

幌骨は軽量で強靱な樹脂材を採用しており、腐食することがなく、幌地の高周波溶着により従来のようなミシン糸の糸切れや針穴からの漏水の心配もなく、保守・点検の省力化に貢献しています。
軽量のため、幌の取り付け、取り外しなどの作業は一人でも可能となっています。



MIKAMIの連結幌●品質

当社では、連結幌のためにMK式偏倚試験機を開発・導入し、品質の安定と向上に努めています。

試験機は、想定される最大変化量での直線三次元の動きを同時に再現して、耐久性を評価します。

幌の自重により「ねじれ」を再現し、垂直・前後・左右の動きを繰り返し、完了後原点に戻ります。

車両妻面に相当する部位に取り付ける幌枠の交換により、あらゆる大きさの幌の取付けが可能です。

お客様の車両間距離に合わせた調整も可能です。

主な諸元(車両進行方向に対して)

- ①左右水平方向の偏倚±450mm
- ②垂直方向の偏倚+100mm
- ③後車に対する傾斜量±2°
- ④後車に対する前車のねじれ±17°

(中心位置は車両妻面から320mm)

上記4動作の組み合わせにより、3次元的な偏倚運動を再現します。





MIKAMI



三上化工材株式会社

〒578-0943

東大阪市若江南町1丁目1-28

TEL. 06-4307-6671(代) FAX. 06-4307-6865

URL <http://mikami-kakouzai.co.jp>

Email support_mikami@mikami-kakouzai.co.jp